チーム十五中授業力向上プロジェクト　令和２年(2020年)８月31日 No.37 授業力向上委員会

「聴いて・考えて・つなげる」通信



授業力向上セミナー（７月３１日実施）　ふりかえりシートより　Part2

僕は、授業中とても復唱したくなります。というかしています。なぜなら生徒の声が小さすぎるからです。どうアプローチしたらいいですか？
安部先生が、行ってた、注意事項みたいなのを毎回言わないといけないですか？……
時間が厳しい……(汗)
理想は安部先生の授業を50分することだけど、1コーナーとかだけでもいいですか？

◎生徒の声が小さいときは、できればみんなに伝わる声の大きさを考えさせる指導をするといいかと思います。

Ex)「**今の声の大きさで、みんなに伝わっているかな？どうしたらいいと思う？**」

しかし、元々声が小さかったり、大きく声を出すのがはずかしかったりする生徒がいると思います。自尊感情を下げてまで声を大きく出す指導をする必要はないので、そういった場合は近くの聴こえている生徒に復唱させてみるといいと思います。

Ex)「**○○さん、今の△△さんが言ったことをもう一回言ってみて**」

◎「聴いて・考えて・つなげる授業」は、毎時間がっつりやってたら時間が足りなくなりますよね。そこで大事なのが単元のまとまりで授業を構成していくことです。単元の中には知識・技能を習得する時間も必要なので、「聴いて・考えて・つなげる授業」を単元のどのタイミングで、どのくらいの時間を使ってやるのか、単元指導評価計画を作成し計画を立ててください。（授業力向上ハンドブック p.31～35 参照）

◎生徒に見通しを持たせるために、授業でつけたい資質・能力を明確に説明することはとても大事です。「あたたかな聴き方・やさしい話し方」等、学び方の資質・能力は１時間の指導だけでは見に付きません。継続的に、どの教科でも、チーム十五中として指導していくことが大切です。

コラム『 授業力向上セミナー 』　文：前島ｔ



昨年度、１５中の授業力向上委員会のメンバーで、横浜の先進校の視察にも一緒に行った、平石先生から連絡が来ました。横須賀市立神明中学校というところでがんばっておられるようです。１５中の授業力向上委員会の取り組みの中で学んだ「聞いて考えてつなげる授業」のスキルを次の学校でも存分に生かしておられるようです。

１学期末に行われた授業力向上セミナーが開催され、新転任の先生方がたくさん参加されていました。セミナーの中で、安部先生が模擬授業をされ、縄文時代と弥生時代の暮らしの変化の授業を生徒役として受けました。つい教師がしゃべりすぎてしまって、生徒たちの学びを止めてしまっている授業を生徒側の立場で体験しました。授業を受けてみて初めて気付いたこともたくさんありました。次回の授業力セミナーもみなさんぜひ参加してみてください！